

# 先行自治体からタブレット端末の活用状況を学ぶ

スマート議会推進チーム視察報告



## 五所川原市議会

スマート議会推進チームでは、既にタブレット端末（携帯型の板状のコンピュータ）を導入している五所川原市、八戸市の両市議会の活用状況を視察しました。

平成28年3月定例会から本格運用開始  
 ・会議システム「Side Books (サイドブックス)」で、本会議や常任委員会等の資料のペーパーレス化を実現  
 ・費用の縮減、ペーパーレス対象会議の拡大、災害発生時の活用を検討中

両議会でも、導入時には通信環境や配線を含む電源の整備が課題となり、庁舎設備の事情に合わせた対応をされていきました。また、両議会で、タブレット端末上で使用する会議システムが異なるためそれぞれの良い点と不便な点を伺いました。運用ルール等の参考資料もいただけたので、今回の視察を踏まえ、今後、導入計画を具体化していきます。



## 八戸市議会

平成27年9月1日から本格運用開始  
 ・会議システム「more NOTE(モアノート)」を採用し、議会側の会議資料はほぼ全てペーパーレス化を実現  
 ・機種更新後、各議員から回収する旧端末の二次利用が課題



## 地域課題を捉え 解決方法を探る

—三本木農業高校生との意見交換会—



三本木農業高校生と市議会議員との意見交換会が、10月5日に同校で開催されました。次世代を担う高校生が政治に興味を持ち、国民としての立場を理解し、また、地域課題について討論することによって課題解決能力とコミュニケーション能力を高めることが目的です。

当日は2年生170人が20グループに分かれ、新型コロナウイルス対策の現状や農業後継者不足問題、歩道の整備など、多岐にわたるテーマをもとに各議員と市の課題や将来像等について、活発に意見を交わしました。

### 【生徒の感想】

政治にも興味が湧き自分の考えを深めることができました。

とても貴重な機会なので大切にしていきたいと思いました。

普段は考えないテーマの討論ができて勉強になりました。

### 【議員の感想】

◆自分の将来をしっかりと考えている事に感動。思いどおりにいかなかったも、目の前の課題に挑戦し夢を叶えてほしいと激励しました。

◆映画館等の遊ぶ場所が少ない、歩道が狭い、魅力ある十和田市になってほしいなどの声が活発にありました。

◆十和田市の観光や農産物をどのようにアピールしていくか、一緒に考え意見交換ができてとても楽しく、頼もしくもありました。